

1年ファインアート科/ビジュアルデザイン科

感性と表現2

担当教員 尼子 靖

受講アトリエ [602]

2023/06/07(水)- 2023/07/12(水)

修得単位：「感性と表現1、2」全て習得して1単位

11:00-12:30

授業内容

多様な立体表現の可能性を、アート、デザイン、舞台美術等より、コンテンツとしてレクチャー形式で学ぶ。また、実践的な立体表現を、「紙」をメイン素材とした課題で、イメージの創り方、構成、加工方法等の基礎技術を習得する。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	6月7日	水	○	空間表現に関わるアート、デザイン等のレクチャー&課題説明。次回に向けての家庭課題。		構成力	
2	6月14日	水	○	アイデアスケッチを元に、紙で試作を作りながらアイデアを練る。		構成力	
3	6月21日	水	○	アイデアを発表後、調整、決定して制作の段取りを決める。		構成力	
4	6月28日	水	○	制作		構成力	
5	7月5日	水	○	制作～作品完成		構成力	
6	7月12日	水	○	講評会		構成力	

学習目標

自己のクリエイティブな感性、表現の可能性を2次元に留まらず、3次元の世界に視野を広げ、感性の幅を広げることを目標とする。

予習・準備物

学校支給素材A：B3パネル、B3イラストボード、四つ切画用紙@3枚、四つ切ケント紙@3枚、四つ切白ダンボール@1枚、学校準備素材（教室単位で）：両面テープ15こ程度、55&77スプレーのり各3個、スティックのり5個、ホッチキス5個、マスキングテープ10個、画鋏、クリップ人数分。学生持参用具：筆記用具一式、クロッキー帳、カッターナイフ、ハサミ、30cm以上の定規、彩色用具一式、カッターマット（学校にあればそれを使用する）

注意事項

制作時、カッターナイフを使うので、事故の無いように、加工方法、説明を良く聞くこと。

評価方法

作品提出により採点する。

1年ファインアート科

伝統と現代

担当教員 小林大悟

受講アトリエ [601] 修得単位：1.5単位

2023/04/15(土)-2023/7/15(土)

13:30-16:30

授業内容

ワークショップ形式の課題を通じて、日常的に接する機会の少ない「日本美術」や「伝統」に関わる素材や題材に広く触れていきます。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月15日	土		フランス語1	○	オリエンテーション	
2	4月22日	土		フランス語1	○	長い紙に描いてみよう	
3	5月6日	土		フランス語1	○	長い紙に描いてみよう 続きと鑑賞会	
4	5月13日	土		フランス語1	○	墨を味わおう	
5	5月20日	土		フランス語1	○	墨を味わおう	
6	5月27日	土		フランス語1	○	画材で遊ぼう	
7	6月3日	土		フランス語1	○	画材で遊ぼう	
8	6月10日	土		フランス語1	○	日本画鑑賞 (川端龍子記念館)	課外授業 (美術館見学)
9	6月17日	土		フランス語1	○	日本画をかいてみよう	
10	6月24日	土		フランス語1	○	日本画をかいてみよう	
11	7月1日	土		フランス語1	○	現代妖怪を描こう	
12	7月8日	土		フランス語1	○	現代妖怪を描こう	
13	7月15日	土		フランス語1	○	現代妖怪を描こう	

学習目標

「日本美術」や「日本画」をテーマに、現代的な視点も交えながら実技制作を行なっていきます。この授業で重きを置くのは技術習得や作品の出来上がりではなく、不慣れな画材を通じてそれぞれが実験・発見を積み上げていくことです。授業を通じ日本美術へと関心を持つきっかけをつくり、今後専門分野に分かれても応用していける引き出し作りを目指します。

予習・準備物

筆記用具、汚れても良い服装

注意事項

対面授業は進行状況を鑑みて、内容の前後や多少の変更もあります。(オンライン授業日は原則変更しません)

評価方法

参加意欲と授業態度を重視します。

1年ビジュアルデザイン科

写真基礎演習

担当教員 藤本 陽

受講アトリエ [602] 修得単位：1.5単位

2023/04/15(土)-2023/7/15(土)

13:30-16:30

授業内容

課題を通して観察を行い、その写真を撮ります。その撮影した内容が制作意図の伝達ができているかを確認していく。撮影はチームを組み、課題に対して時間と内容を個人だけではなく、チームで管理と進行する。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月15日	土		フランス語1	○	授業説明と課題について	
2	4月22日	土		フランス語1	○	撮影(街歩き)	
3	5月6日	土		フランス語1	○	画像編集と編集の簡易説明	
4	5月13日	土		フランス語1	○	画像編集	
5	5月20日	土		フランス語1	○	プリント提出と批評会	
6	5月27日	土		フランス語1	○	課題説明とその構想	
7	6月3日	土		フランス語1	○	撮影(日常)	
8	6月10日	土		フランス語1	○	画像編集	
9	6月17日	土		フランス語1	○	プリント提出と批評会	
10	6月24日	土		フランス語1	○	課題説明とその構想	
11	7月1日	土		フランス語1	○	撮影(明日館か目白庭園)	
12	7月8日	土		フランス語1	○	画像編集	
13	7月15日	土		フランス語1	○	プリント提出と批評会	

学習目標

一枚一言の制作趣旨で、伝えると伝わるの差異を減らす、または生じる事を理解していく。回数を重視して都度の課題で捉え方を変えていき、考え過ぎずに納期に向かって行動を起こす事を促す。

予習・準備物

パソコンへのデータ移動、写真屋さんでのプリントの仕方・カメラとして機能する物(スマートフォンや一眼レフなど)

注意事項

適切な言動を求めます。理由が不適切な遅刻や怠惰などに、他人に対する不適切や不愉快な言動などがあれば評価をいたしません。

評価方法

参加意欲・授業態度(50%)と制作物(50%)

1年ファインアート科/ビジュアルデザイン科

表現力

担当教員 飯田 淳

受講アトリエ [601、602] 修得単位：1.5位

2023/04/14(金)-2023/7/14(金)

13:30-16:30

授業内容

表現力は柔らかな発想のもと、物や事、ストーリーを色で表現する授業です。決めつけで物を作らず、固定概念に囚われない事。意外性のある課題を通して「自分の枠」を飛び越え、個性が重視されるイラストの世界に近づくための授業でもあります。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月14日	金		日本美術史A/英会話	○	オリエンテーション	
2	4月21日	金		日本美術史A/英会話	○	制作	
3	5月12日	金		日本美術史A/英会話	○	制作	
4	5月19日	金		日本美術史A/英会話	○	制作	
5	5月26日	金		日本美術史A/英会話	○	制作	
6	6月2日	金		日本美術史A/英会話	○	制作	
7	6月9日	金		日本美術史A/英会話	○	制作	
8	6月16日	金		日本美術史A/英会話	○	制作	
9	6月23日	金		日本美術史A/英会話	○	制作	
10	6月30日	金		日本美術史A/英会話	○	制作	
11	7月7日	金		日本美術史A/英会話	○	講評	
12	7月14日	金		日本美術史A/英会話	○	講評	

学習目標

基礎課程として1年次に、表現の根本になる5つのエレメントに分けて指導を行う。5つのエレメントとは「技法力」「観察力」「構成力」「企画力」「表現力」を指す。将来どんな活動をする上でも基本的な「体」ができていないと多様なものは生まれてこない。1年次前期で基礎力をしっかり身に付けることで、クリエイティブの入り口に立つことができ、2年、3年の授業も「なぜこれをやるのか」を理解できるようになる。その一番大事な部分を取り組む授業が「5つの力」である。上手に描けていながら、自分の描写力に自信のない人。そういった人がこの5つの力を通過する事によって苦手意識を克服し、次世代のプロを育成する足がかりとする。もの作りの構造を理解し、時代に対応できる力をつけることを目標とする。

予習・準備物

課題ごとに指示する。

注意事項

出来る限り授業時間内に制作完成させること。

評価方法

課題提出と授業態度で評価する。

1年ファインアート科/ビジュアルデザイン科

企画力

担当教員 岡山拓史

受講アトリエ [601、602] 修得単位：1.5単位

2023/04/13(木)-2023/7/13(木)

13:30-16:30

授業内容

企画やアイデアを求められる場面が現代社会では非常に多くなってきました。「企画力」ではアイデアの出し方、コミュニケーション力、プレゼンテーション力、実現力などクリエイティブの現場で必要となるスキルを課題制作を通して養います。そして社会との繋がりを意識してもらいます。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月13日	木		Mac講座A/社会とクリエイター	○	オリエンテーション / 課題制作A-1	
2	4月20日	木		Mac講座A/社会とクリエイター	○	課題制作A-2	
3	4月27日	木		Mac講座A/社会とクリエイター	○	課題制作A-3	
4	5月11日	木		Mac講座A/社会とクリエイター	○	課題制作A-4	
5	5月18日	木		Mac講座A/社会とクリエイター	○	課題制作A-5	
6	5月25日	木		Mac講座A/社会とクリエイター	○	課題制作A-6	
7	6月1日	木		Mac講座A/社会とクリエイター	○	プレゼンテーション/講評	
8	6月8日	木		Mac講座A/社会とクリエイター	○	課題制作B-1	
9	6月15日	木		Mac講座A/社会とクリエイター	○	課題制作B-2	
10	6月22日	木		Mac講座A/社会とクリエイター	○	課題制作B-3	
11	6月29日	木		Mac講座A/社会とクリエイター	○	課題制作B-4	
12	7月6日	木		Mac講座A/社会とクリエイター	○	課題制作B-5	
13	7月13日	木		Mac講座A/社会とクリエイター	○	プレゼンテーション/講評	

学習目標

基礎課程として1年次に、表現の根本になる5つのエレメントに分けて指導を行う。5つのエレメントとは「技法力」「観察力」「構成力」「企画力」「表現力」を指す。将来どんな活動をする上でも基本的な「体」ができていないと多様なものは生まれてこない。1年次前期で基礎力をしっかり身に付けることで、クリエイティブの入り口に立つことができ、2年、3年の授業も「なぜこれをやるのか」を理解できるようになる。その一番大事な部分を取り組む授業が「5つの力」である。上手に描けていながら、自分の描写力に自信のない人。そういった人がこの5つの力を通過する事によって苦手意識を克服し、次世代のプロを育成する足がかりとする。もの作りの構造を理解し、時代に対応できる力をつけることを目標とする。

予習・準備物

生活スタイルが大きく変わった昨今、自分の中で感じたこと、気づいたこと、社会の変化や未来、この課題制作の中で必要になることです。自分の中で整理しておいてください。

注意事項

クリエイティブな現場と同じようにグループで課題制作を進めます。欠席、遅刻をしないよう注意してください。

評価方法

課題提出による採点

MAC講座A

担当教員 高林直俊

受講アトリエ [401] 修得単位：1単位

2023/04/13(木)-2023/09/28(木)

* 「Mac講座A」と「社会とクリエイター」は1限と2限を学生が入れ替え制で授業を行います。

9:20-10:50/11:00-12:30

授業内容

前期では基礎的なPCの使い方、IllustratorおよびPhotoshopの基礎的知識、技術を身につけるための授業を行います。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月13日	木	○	オリエンテーション	社会とクリエイター	企画力	自己紹介・Macに触れてみよう
2	4月20日	木	○	データ作成の基礎	社会とクリエイター	企画力	データ名・データ作成・データ送信
3	4月27日	木	○	Illustratorとは	社会とクリエイター	企画力	Illustratorに触れてみよう
4	5月11日	木	○	Photoshopとは	社会とクリエイター	企画力	Photoshopに触れてみよう
5	5月18日	木	○	Illustrator_基礎A	社会とクリエイター	企画力	Illustratorの基礎
6	5月25日	木	○	Illustrator_基礎B	社会とクリエイター	企画力	基礎操作、ツール、図形、イラスト、文字の扱い方、印刷知識
7	6月1日	木	○	Photoshop_基礎A	社会とクリエイター	企画力	Photoshopの基礎
8	6月8日	木	○	Photoshop_基礎B	社会とクリエイター	企画力	基礎操作、ツール、画像処理・合成など
9	6月15日	木	○	Illustrator & Photoshop	社会とクリエイター	企画力	予備日
10	6月22日	木	○	【課題A】名刺作成進行	社会とクリエイター	企画力	名刺を作る。制作～出力提出&データ提出まで
11	6月29日	木	○	【課題A】名刺作成進行	社会とクリエイター	企画力	
12	7月6日	木	○	【課題A】課題提出	社会とクリエイター	企画力	
13	7月13日	木	○	【自由課題】作成進行	社会とクリエイター	企画力	自由課題。制作～出力提出&データ提出まで
14	9月7日	木	○	作成進行		企画力	
15	9月14日	木	○	作成進行		企画力	
16	9月21日	木	○	作成進行		企画力	
17	9月28日	木	○	課題提出		企画力	

学習目標

イラストレーターやデザイナーなどデザイン業界に携わる際に、印刷物（紙媒体）をベースとした各メディアのデータ作成に必要な基礎知識やスキルなどを身につけることを目指します。また自己アピールの際にポートフォリオ作成に必要な最低限の知識などを身につけます。

予習・準備物

毎授業USBメモリは必須となります。その他何か必要な場合は事前に告知します。

注意事項

課題も大事ですが、出席率は他の授業に比べかなり重視します。

評価方法

課題作品 50% 制作態度 50%

1年ファインアート科/ビジュアルデザイン科

社会とクリエイター

担当教員 田中北斗

受講アトリエ [602] 修得単位：1単位

2023/04/13(木)-2023/07/13(木)

「社会とクリエイター」は「Mac講座A」と1限、2限で学生は入れ替わりで授業を受けます。

9：20-10：50/11：00-12：30

授業内容

毎回、講義を中心にプロのクリエイターに必要な知識や考え方を養います。授業時間内の後半では、様々なテーマに合わせ、各自の意見やアイデアを文章やラフスケッチなどで表現、提出。発表など行う場合もあります。ゲストを招いたトークセッションでは、プロのクリエイターになるためのプロセスなどを伺います。質問コーナーも予定。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月13日	木	○	Mac講座A	オリエンテーション		企画力
2	4月20日	木	○	Mac講座A	講義「クリエイターになるために」		企画力
3	4月27日	木	○	Mac講座A	●クリエイタートーク vol.1		企画力 ゲストを招いたトーク
4	5月11日	木	○	Mac講座A	●クリエイタートーク vol.2		企画力 ゲストを招いたトーク
5	5月18日	木		Mac講座A	自習「社会を巻き込むアイデア」レポート		企画力
6	5月25日	木	○	Mac講座A	●クリエイタートーク vol.3		企画力 ゲストを招いたトーク
7	6月1日	木	○	Mac講座A	講義		企画力
8	6月8日	木	○	Mac講座A	講義		企画力
9	6月15日	木	○	Mac講座A	●クリエイタートーク vol.4		企画力 ゲストを招いたトーク
10	6月22日	木	○	Mac講座A	講義		企画力
11	6月29日	木	○	Mac講座A	講義		企画力
12	7月6日	木	○	Mac講座A	●クリエイタートーク vol.5		企画力 ゲストを招いたトーク
13	7月13日	木	○	Mac講座A	講義		企画力

学習目標

クリエイターになるための考え方（アイデアや企画）や社会との関わり方、コミュニケーションの大切さなどを講義やゲストを招いたトークセッションを通して学びます。

予習・準備物

筆記用具：授業の後半に、質問やアイデアなどを「文章・ラフスケッチ」などの形で提出していただくことがあります。

注意事項

評価方法

授業態度 及び 提出物による採点

1年ファインアート科/ビジュアルデザイン科

構成力

担当教員 山本哲次

受講アトリエ [602] 修得単位：1.5単位

2023/04/12(水)-2023/7/12(水)

13:30-16:30

授業内容

構成力は構図、レイアウトなど、組み立てる力をつける授業です。対象物をじっくり観察し、特徴を捉え、どういう構図やレイアウトがベストなのか、作品の分析や制作を通して身につけていきます。同時にデザインの考え方を学んでいく授業です。制作の一連の流れを体験しながら自分自身で作品を評価、分析することも学んでいきます。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月12日	水		日本語1	○	ガイダンス	オリエンテーション
2	4月19日	水		日本語1	○	シンボルマーク/観察・分析	
3	4月26日	水		日本語1	○	シンボルマーク/描写	
4	5月10日	水		日本語1	○	シンボルマーク/色面構成	
5	5月17日	水		日本語1	○	シンボルマーク/マーク制作	※各自、描写制作を進めること
6	5月24日	水		日本語1	○	シンボルマーク/検証/評価	シンボルマーク講評
7	5月31日	水		日本語1	○	フライヤー/分解・分析	
8	6月7日	水		日本語1	○	フライヤー/分解・分析	
9	6月14日	水		日本語1	○	フライヤー/アイデアスケッチ	
10	6月28日	水		日本語1	○	フライヤー/構築・表現	
11	7月5日	水		日本語1	○	フライヤー/検証・評価	
12	7月12日	木		日本語1	○	フライヤー講評・構成力総評	フライヤー講評・総評

学習目標

将来活動をする上で基本の「体」ができていないと多様なものは生まれてこない。基礎力をしっかり身に付けることで、2年、3年の専門課程ができるようになります。「技法力」「観察力」「構成力」「企画力」「表現力」の5つの全てを習得することによって初めてプロとして必要な基礎力が身につきます。「構成力」は、表現においてのカタチの形成・構図・レイアウトなどに関わる重要な基礎の力です。デザインの基礎的な事や考え方を学ぶことを目標とします。

予習・準備物

筆記用具・スケッチ用紙。その他は授業初日に説明します。

注意事項

1. 制作本来の目的を意識し、事前の準備をしっかり行いましょう。
2. 遅刻・欠席が無いように注意しましょう。
3. 提出物の期限を守りましょう。
4. アトリエはキレイに使いましょう。
5. 授業・課題制作を楽しみましょう。

評価方法

制作態度・積極性60%（課題作品の完成度はもちろん、演習を期限内に提出することを最低基準とします）課題作品40%

1年ビジュアルデザイン科

観察力

担当教員 関根秀星

受講アトリエ [602] 修得単位：3単位

2023/04/11(火)-2023/7/11(火)

9：20-12：30/13：30-16：30

授業内容

デッサン・クロッキーの、基礎から応用。

課題毎にデモストや講評を行い、より深い理解へと繋げる。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月11日	火	○	オリエンテーション/グレースケール	○	静物デッサン基礎	B3画用紙・鉛筆
2	4月18日	火	○	静物デッサン基礎	○	静物デッサン基礎	B3画用紙・鉛筆
3	4月25日	火	○	静物デッサン基礎	○	静物デッサン基礎	B3画用紙・鉛筆
4	5月9日	火	○	人体デッサン	○	人体デッサン	B3画用紙・鉛筆
5	5月16日	火	○	人体デッサン	○	人体デッサン	B3画用紙・鉛筆
6	5月23日	火	○	静物デッサン応用	○	静物デッサン応用	B3画用紙・鉛筆
7	5月30日	火	○	静物デッサン応用	○	静物デッサン応用	B3画用紙・鉛筆
8	6月6日	火	○	静物デッサン応用	○	静物デッサン応用	B3画用紙・鉛筆
9	6月13日	火	○	静物デッサン応用	○	静物デッサン応用	B3画用紙・鉛筆
10	6月20日	火	○	人体クロッキー	○	人体クロッキー	木炭紙大クロッキー帳、 画用紙等
11	6月27日	火	○	人体クロッキー	○	人体クロッキー	木炭紙大クロッキー帳、 画用紙等
12	7月4日	火	○	細密描写	○	細密描写	鉛筆、木炭等 画用紙、上質紙等/鉛 筆、色鉛筆
13	7月11日	火	○	細密描写	○	細密描写	画用紙、上質紙等/鉛 筆、色鉛筆

学習目標

イラストレーションやデザインや絵画や立体等々、クリエイターの表現方法は多岐にわたるが、全ての表現に共通する大前提の過程として、表現する対象を深く、多角的に理解する"インプット"の質が求められる。

デッサンやクロッキーを通して、モノの本質的、外見的な観察力を養い、表現者としての基礎体力をつける。

予習・準備物

・デッサン用具一式 ・これまでの課題制作物、自主制作作品 ・各課題において、各自準備物を別途指示

注意事項

評価方法

制作態度、提出課題による採点

1年ファインアート科

観察力

担当教員 工藤礼二郎

受講アトリエ [601] 修得単位：3単位

2023/04/11(火)-2023/7/11(火)

9：20-12：30/13：30-16：30

授業内容

観察力では単に描写力を鍛えるだけでなく、描くことを通して物事を深く見つめることのできる力を養っていきます。それはプロのクリエイターとして必要かつ重要なことです。じっくりと物と対話しながら描くことの面白さと大切さを学びます。鉛筆、木炭デッサンから始まり、人体デッサン、水彩、油画など絵画表現の基礎を身につけます。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月11日	火	○	オリエンテーション/鉛筆デッサン(静物)	○	鉛筆デッサン(静物)	B3画用紙・鉛筆
2	4月18日	火	○	講師作品解説/鉛筆デッサン(静物)	○	鉛筆デッサン(静物)	B3画用紙・鉛筆
3	4月25日	火	○	制作実演/木炭デッサン(静物)	○	木炭デッサン(静物)	木炭紙・木炭
4	5月9日	火	○	木炭デッサン(静物)	○	木炭デッサン(静物)	木炭紙・木炭
5	5月16日	火	○	美術解剖学講座	○	人体クロッキー(男性)	B3クロッキー帳・コンテ
6	5月23日	火	○	美術解剖学講座	○	人体クロッキー(女性)	B3クロッキー帳・コンテ
7	5月30日	火	○	人体デッサン(男性座りポーズ)	○	人体デッサン(男性座りポーズ)	木炭紙大画用紙 or 木炭紙・鉛筆or 木炭
8	6月6日	火	○	人体ヌードデッサン(女性寝ポーズ)	○	人体ヌードデッサン(女性寝ポーズ)	木炭紙大画用紙 or 木炭紙・鉛筆or 木炭
9	6月13日	火	○	人体コスチュームデッサン(座りポーズ)	○	人体コスチュームデッサン(座りポーズ)	木炭紙大画用紙 or 木炭紙・鉛筆or 木炭
10	6月20日	火	○	水彩描写(顔を描く)	○	水彩描写(顔を描く)	B3画用紙・水張りパネル・水彩
11	6月27日	火	○	水彩描写(風景を描く)	○	水彩描写(風景を描く)	B3画用紙・水張りパネル・水彩
12	7月4日	火	○	基礎油画	○	基礎油画	F10号キャンバス・油彩
13	7月11日	火	○	基礎油画	○	基礎油画/基礎油画	F10号キャンバス・油彩

学習目標

基礎課程として1年次に、表現の根本になる5つのエレメントに分けて指導を行う。5つのエレメントとは「技法力」「観察力」「構成力」「企画力」「表現力」を指す。将来どんな活動をする上でも基本的な「体」ができていないと多様なものは生まれてこない。1年次前期で基礎力をしっかり身に付けることで、クリエイティブの入り口に立つことができ、2年、3年の授業も「なぜこれをするのか」を理解できるようになる。その一番大事な部分を取り組む授業が「5つの力」である。上手に描けていながら、自分の描写力に自信のない人。そういった人がこの5つの力を通過する事によって苦手意識を克服し、次世代のプロを育成する足がかりとする。もの作りの構造を理解し、時代に対応できる力をつけることを目標とする。

予習・準備物

注意事項

評価方法

課題作品による採点

技法力

担当教員 鈴木吐志哉

受講アトリエ [601、602、他] 修得単位：1.5単位

2023/04/10(月)-2023/7/10(月)

13:30-16:30

授業内容

技法力は様々な版画の技法から生まれる表現を体験しながら探る授業です。まずフロタージュから始まりモノタイプやシルクスクリーンなど、直接描くことでは得られない間接表現の魅力を学びます。さらに本校収蔵の葛飾北斎「神奈川沖浪裏」復刻版の版木をキーワードに、自由な表現による木版画、コラージュへと展開させてゆきます。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月10日	月		感性と表現/文章技法論	○	フロタージュ	筆記用具
2	4月17日	月		感性と表現/文章技法論	○	モノタイプ (トランスファー)	・筆記用具・鉛筆・ボールペン エプロン等汚れても大丈夫な服装
3	4月24日	月		感性と表現/文章技法論	○	モノタイプ (スクラッチ)	
4	5月8日	月		感性と表現/文章技法論	○	シルクスクリーン (原稿制作)	
5	5月22日	月		感性と表現/文章技法論	○	シルクスクリーン (刷り)	
6	5月29日	月		感性と表現/文章技法論	○	シリコンリトグラフ (版制作)	
7	6月5日	月		感性と表現/文章技法論	○	シリコンリトグラフ (刷り)	
8	6月12日	月		感性と表現/文章技法論	○	木版画 (正方形の版木を使って) (葛飾北斎復刻版版木の摺り体験)	
9	6月19日	月		感性と表現/文章技法論	○	木版画 (正方形の版木を使って) (葛飾北斎復刻版版木の摺り体験)	
10	6月26日	月		感性と表現/文章技法論	○	木版画 (正方形の版木を使って) (葛飾北斎復刻版版木の摺り体験)	・筆記用具・鉛筆・ボールペン エプロン等汚れても大丈夫な服装 カッター・ハサミ
11	7月3日	月		感性と表現/文章技法論	○	木版画 (正方形の版木を使って) (葛飾北斎復刻版版木の摺り体験)	
12	7月10日	月		感性と表現/文章技法論	○	講評会	筆記用具

学習目標

基礎課程として1年次に、表現の根本になる5つのエレメントに分けて指導を行う。5つのエレメントとは「技法力」「観察力」「構成力」「企画力」「表現力」を指す。将来どんな活動をする上でも基本的な「体」ができていないと多様なものは生まれてこない。1年次前期で基礎力をしっかり身に付けることで、クリエイティブの入り口に立つことができ、2年、3年の授業も「なぜこれをやるのか」を理解できるようになる。その一番大事な部分を取り組む授業が「5つの力」である。上手に描けていながら、自分の描写力に自信のない人。そういった人がこの5つの力を通過する事によって苦手意識を克服し、次世代のプロを育成する足がかりとする。もの作りの構造を理解し、時代に対応できる力をつけることを目標とする。

予習・準備物

●配信される技法の紹介動画の視聴 (その都度告知します) ●鉛筆、ノート等の筆記用具 ●エプロン等の汚れても大丈夫な服装

注意事項

7/10に講評会を行います。制作した自分の作品を支給したデザインケースできちんと管理しておいてください。

評価方法

授業での積極性50% 提出課題50%

1年ファインアート科/ビジュアルデザイン科

感性と表現1

担当教員 富岡由理弥

受講アトリエ [602]

2023/04/10(月)- 2023/05/29(月)

修得単位：「感性と表現1、2、3」全て習得して1単位

9:20-10:50

授業内容

クラシック音楽の基礎や、音楽の歴史などを学びながら、空間芸術に対して時間芸術がどのようなものであるかを学ぶ。さまざまなリズムや音が何を表しているのかをイメージし、想像力を養っていく。実際の実技も伴う。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月10日	月	○	オリエンテーション アンケート、音楽と美術のつながり、 音楽の歴史など。		技法力	学校準備： CDがかけられる機材
2	4月17日	月	○	音楽修辞学。 各作曲家のエピソードなど		技法力	
3	4月24日	月	○	心の表現方法。音楽において言葉をど のように聴衆へ伝えるか。		技法力	
4	5月8日	月	○	リズムから言葉をイメージしていく。 想像力を養う。		技法力	
5	5月22日	月	○	腹式呼吸や発声を体験。声はどのよう に出ているのかを実感する。		技法力	朗読・表現の課題配布
6	5月29日	月	○	実技とレポート提出		技法力	

学習目標

芸術性を身につける為には広い視野で」様々な芸術に触れる機会が必要。美術と音楽にも共通点があると考え、音楽の知識や感覚を少しでも知る事により、自身の作品に生かして貰いたい。

予習・準備物

注意事項

評価方法

実技及びレポートを提出による採点